



読字原田 鏡

No. 790

2016/ 2/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0045 東京都千代田区
神田1-1-1 1F 03-3211

日中友好協会
岡山支部
〒710-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



2016年春節 日本語弁論・カラオケ大会

日中岡山支部 小林軍治

2月14日(日)、岡山国際交流センターで岡山県華僑華人総会(会長・劉勝徳)主催の標記の大会が開かれました。中国からの留学生、技能実習生、中国帰国者の二世・三世および日中友好団体代表、行政関係者など約150人が参加しました。

劉会長のあいさつに続き、駐大阪総領事館の張秀芬領事や岡山県民生活部国際課の信江課長から「日中友好の大切さなどについて」来賓あいさつがありました。私は、今回初めて来賓兼審査員として紹介されました。中国語司会者は、中国東方航空岡山支店の楊奕格(高杉香奈)さんが担当しました。

相互理解を深めたい

日本語弁論大会には、大学生(岡山商科大学・岡山大学など)8人、技能実習生1人、専門学校生1人の計10人が私の夢「足るを知る者は幸福なり」などについて一生懸命話しました。優勝したのは、来日3年目の金紅芬(岡大生)さんで「縁」と題して、日中友好に熱心な指導教官との出会いとその後の交流についての弁論でした。



私が感銘を受けたのは、鄭敏芝(倉敷芸術科学大学)さんの「見えない壁」と題する弁論でした。アルバイト先でレジ係をしていたとき「お客から中国人か、気持ち悪い」と言われ悲しくなった。それを聞いていた次の人が「気にしないで頑張ってください。』と言ってくれたのがうれしかった。」との体験を語り、中日両国を知る留学生は鏡のような存在であり、自分が手本となり相互理解を深めていきたい。」としっかりと口調で話しました。

カラオケ大会では、高校生を含め12人(中国人8人、日本人4人)で、中国人は、日本語で「麦の唄」世界に「ただの花」など、日本人は「静靜的」月「亮代表我的心」などを中国語で、それぞれ感情を込めて歌いました。

今回は、中国チャイナドレスの会(劉英姿会長)も駆けつけ、チャイナドレスファッションショーを行い、会場は大いに盛り上がりました。



小林さんと後藤さん

再会のよろこび

私は、この大会を毎年楽しみにしています。それは、日本で学び、生活している中国の若者たちの生の声がきけることと、中国帰国者や帰国者支援にかかわった人々に再会できるからです。

今回は、中国帰国者二世で長岡日本語教室(木曜日)に1年間くらい来ていた後藤さん(当時小学5年生)に再会できました。彼女は、高校1年生で、チャイナドレスファッションショーに参加していて、まぶしいばかりの美しさでした。



鄭敏芝さん

私が感銘を受けたのは、鄭敏芝(倉敷芸術科学大学)さんの「見えない壁」と題する弁論でした。アルバイト先でレジ係をしていたとき「お客から中国人か、気持ち悪い」と言われ悲しくなった。それを聞いていた次の人が「気にしないで頑張ってください。』と言ってくれたのがうれしかった。」との体験を語り、中日両国を知る留学生は鏡のような存在であり、自分が手本となり相互理解を深めていきたい。」としっかりと口調で話しました。

カラオケ大会では、高校生を含め12人(中国人8人、日本人4人)で、中国人は、日本語で「麦の唄」世界に「ただの花」など、日本人は「静靜的」月「亮代表我的心」などを中国語で、それぞれ感情を込めて歌いました。



上・劉会長



下・司会の楊奕格さん

「ニュースおかやま」が山東省青島に!

5月の終りに日中友好協会岡山県ニュース(おかやま)が中国の青島の若者の手にわたろうとしています。日中倉敷支部の役員、宇野忠義さんが橋わたしをしてくださることにになりました。

宇野さんは弘前大学の名誉教授(農学博士)ですが、大学に中国から留学してきていた青年たちを親切に指導され感謝されています。先ごろ元留学生たちが、山東省青島から先生をお呼びして、お話を聞きたいとの通信があ

竹内和夫

り、先生は承諾されて、5月末に元留学生たちに会えるようです。

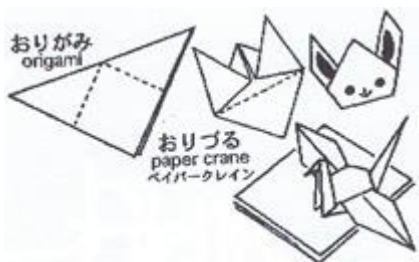
宇野さんは、ぎて、なにを話そうかと? そうだ岡山支部が出しているニュースをコピーして、みんなに配り、日本でこんな友好運動をやっているのだと話したいとのことでした。2015年に出した1月5日号から12月15日号までの1年分を宇野さんに渡ししました。6月はじめに宇野さんの帰朝報告が聞けるものと期待しています。

今年のツルの吹流しは

竹内

岡山市平和の日(6月29日空襲の日)を中心に前後1か月にわたって、表町商店街と駅前商店街に飾ってきました。百本には、なかなかとどきません。

さんかく岡山(旧3丁目劇場どおり)を会場に毎水曜日、午後6時〜8時に行われている日中岡山の太極拳のメンバーのみなさんが、がんばっています。先日、平和のツルを折ってくださいませんかと呼びかけましたところ岡山のKさ



ん、倉敷のNさんなどが力をかしてくださっており、今年も金色をたすことができそうです。

日中友好協会倉敷支部

第16回中国問題文化講演会

日時: 2016年5月21日(土) 13時30分〜16時00分

場所: 倉敷健康福祉プラザ5階大ホール

参加費: 資料代 300円

演題

中国経済の最新の動き

講師: 井出啓二先生

(プロフィール)

1943年生まれ

京都大学大学院経済学研究科 博士課程修了

立命館大学教授、長崎大学経済学教授を歴任

現在 長崎大学名誉教授、中国福州大学客員教授

蘇州から黄艶萍さんの便り

私の春節生活

2月15日号の日中友好新聞を読ませていただき、ありがとうございました。小林さんの除夜に関する記事に関心深く読みました。私の除夜も、中国でこのように過ごしました。美味しい料理を食べ、春節聯歡晩会を見ながら、微信紅包をあげたり、もらったりしました。

2月1日から13日までは春節休みであり、長い休みの間、リラックスがよくできました。

休みの間、カフカの小説「変形記」、村上春樹のエッセー「無比蕪雑的心緒」を読みました。村上さんの「壁と卵」が印象深かった。

映画も見ました。春節の間、香港人の俳優・監督 周星馳の新作「美人魚」が人気です。

日本でいつか上映されるかと思えます。ぜひ見に行ってください。



長崎大学名誉教授
中国福州大学客員教授

井出 啓二さん

話し合いのテーブルに

中国の発展を、大いに歓迎する。中国の発展は、日本にとっても、アジアにとっても、世界にとっても、大きな利益をもたらす。中国の発展は、日本にとっても、アジアにとっても、世界にとっても、大きな利益をもたらす。中国の発展は、日本にとっても、アジアにとっても、世界にとっても、大きな利益をもたらす。

9条活かした外交を

い・けいじ 1943年、生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。立命館大学経済学部教授、長崎大学経済学部教授を歴任。現在、長崎大学名誉教授、中国・福州大学客員教授、立命館大学非常勤講師。著書は『中国の発展と経済改革―歴史的伝統(法文化)』、『戦後に立つ社会主義』、『世界思想社、共著』、『東アジア経済と日本』、『ミネルヴァ書房、共著』など。

「おかやま」

編集からのお願い

最近「おかやま」の原稿が不足しています。

毎回の原稿を小林事務局長が苦心して書いてくださっています。事務局長には大変ご負担をおかけしています。また、小林新聞ですね」という声も聞こえてきます。

どんな些細なことでも構いませんので、ぜひ皆様方のご協力をお願いいたします。原稿は、岡山支部のメール

Rizhong86@hotmail.co.jp
まで。

メールに添付して送っていただければ幸いです。

編集担当 竹内袈裟行

次回の新聞発送作業は
3月1日(火)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

和 袈
内 内
竹 竹
坪 井